



**学びの支援体制「港区GIGAスクールタスクフォース」により、
港区独自のGIGAスクール構想を強かに推進します！**

令和4年4月26日
区長記者発表

港区のGIGAスクール構想実現への取組

GIGAスクール構想とは

令和元年12月に文部科学省が発表した教育改革案。

- 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備
- これまでの教育実践と最先端のICTを組み合わせ、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

港区の取組

港区情報化アクションプラン(平成30年3月策定)に基づいて、電子黒板機能付きの大型提示装置の整備やWi-Fi通信環境の構築など、学校のICT環境を整備。

■令和2年10月

他自治体に先駆けて児童・生徒1人1台のタブレット端末環境を実現。

■令和3年4月

すべての児童・生徒が国語、算数・数学の学習者用デジタル教科書の活用を開始。

■令和3年9月

ハイブリッド型オンライン授業を全ての小中学校で実施し、コロナ禍でも安心して学べる環境を保障。

■令和3年12月

端末の自宅などへの持ち帰りを開始。自宅にWi-Fi環境がない場合には、Wi-Fiルーターを貸出。



現状と課題

1 情報モラルに関する児童・生徒への指導が急務！

1人1台配備したタブレット端末の活用が進むにつれ、学校や家庭で、情報モラルに関する指導を行う機会が増加。保護者、教員も含めた意識啓発が急務。

情報モラルとは？

ハード面

端末の利用に関する
ルール・マナー



- 端末の長時間使用による視力低下の防止
- 学習目的以外の端末利用方法 など

ソフト面

安全なインターネット利用に
関するルール・マナー



- 個人情報の管理や権利についての知識の習得
- 誹謗中傷やいじめの防止 など

現状と課題

2 教員の有効なタブレット端末の活用がポイント！

授業改善や教員の働き方改革に寄与するため、教育の情報リテラシーを向上させ、教員がタブレット端末をスムーズに活用できるようにすることが求められる。

3 端末の配備台数急増に伴い、ICTの専門性が必要に！

現在配備している端末は1万6千台を超え、周辺機器の整備やアカウント管理など、事業規模は急拡大。端末の保守運用業務を円滑に実施できる体制整備が必要！



令和の時代を生き抜く
子どもたち
にとって、
ITツールは
必要不可欠！

タブレット端末等を活用して、他者と協働して学びを進めたり、自ら課題に感じたことを端末を上手に活用して解決していくなど、
新たな学びを切り拓ける子どもたちの姿を目指す！

港区GIGAスクールタスクフォース

GIGAスクールタスクフォース

教育情報参事官をアドバイザーとして位置付けるGIGAスクールタスクフォースのもと、学びの支援体制を強化し、港区独自のGIGAスクール構想を強力に推進！



教育委員会事務局

NEW 教育情報参事官

特別職の非常勤職員として採用。
国や他自治体の動向を見て、教育委員会全体のICTに関する専門性を要する内容への迅速な支援を実施。

- 教育におけるICT計画の策定に対して、技術的な助言、提言を行う
- GIGAスクールの推進や教育委員会が管理するシステム全般の最適化を図るため、専門的なアドバイスを行う。

統合運用事業者などの各事業者

教育情報参事官の助言をもとに、端末の保守関連業務を迅速に実施。

セキュリティアドバイザー

事業者が、セキュリティアドバイザーとして、各学校の教育ICT環境のセキュリティ面についてアドバイス。

実施する内容



端末を活用して、学習への理解を深める
令和の時代にふさわしい学びの指針を策定。



端末の保守運用業務を円滑に行うよう、
各事業者に対してタスクフォースで協議。

教員の有効な端末の活用について
検討を重ね、端末の活用方針を定める。

情報
モラル



情報モラルを向上させる方策を検討し、
児童・生徒、保護者、教員の意識啓発に努める。

教員が端末をスムーズに活
用できるように研修を充実。



情報モラルに関する実態調査を実施予定！

すべての小中学校の児童・生徒、保護者を対象として、令和4年6月頃に情報モラルに関する大規模調査を実施予定。

各家庭でのICT機器の活用状況を把握し、
家庭と学校、教育委員会が一体となった
情報モラル向上のための取組を充実させる！

GIGAスクールタスクフォースのもとGIGAスクールをより一層推進し、
生涯にわたり能動的に学び続けることができる子どもたちを育てる、新たな学校教育を目指します！